



お話しいただいたのは
近藤 嘉人先生

vol.189

こんどーせんせいの 「こどもはスゴイ!」



「がんばれ」よりもいい言葉

6才の女の子。今日はむし歯の治療ですが、診療台にあがったものの、周りで準備が進む様子を察して「いやだ、かえりたー!」と泣き出してしまいました。

「だいじょうぶだからね」。そばで見ているママも、安全のためすぐ横に控えているスタッフも、女の子の手を握ったり腕に触れたりしながら応援の声をかけ続けます。

すると、しばらく「いやだ」と言いながらも、私たちの声かけに段々となさず反応してくれて、治療の後半は普通に会話ができるまで落ち着いてくれました。

そのとき思ったのです。「『がんばって!』と声をかけなかったのがよかったのかもしれない」と。

寄り添うとは

震災などもそうですが、困難な環境に身を置くことになった人にとって、「がんばって」と言われても、どこか空々しく聞こえて心響いてこないのではないかと思うので



す。そして、それは小さな子どもに対しても、同じだと思うのです。

「つらいよね。がんばれるようにお手伝いするね」治療中は、子どもの気持ちを理解して寄り添おうとする姿勢から生まれる言葉を伝えるように、そして環境を整えるように心がけています。

ホスピタリティー

それは診療室のドアが開いたときから始まりです。その子がどういう呼び名で呼ばれたのか、あらかじめ聞いているので「〇〇ちゃん、こんにちは」と受付保育士が声をかけて話しかけます。他にも今ハマっていること、以前診療室で教えてくれたことなど、楽しいお話ができるように貴重な情報が詰まったその子専用の情報記録簿を診療室にいる全員が目を通していきます。

歯の治療についても、子どもたちが「ちょっと頑張ってみよう」と思えるように、手鏡を渡して「今からこういうことをするよ」と具体的に器具を見せて説明します。そのあいだ、保護者の方はそばにいても、子どもの手をにぎってあげることができません。

もちろん、痛くない麻酔を使いますし、例えば口の中に唾液がたまりそうならすぐ取り除けるように、絶えず声をかけま

す。その言葉は、なにかを我慢させるような「がんばれ!」ではなくて「だいじょうぶ?」と不安を聞き出す言葉だったり、「がんばっているね」「えらいね」と努力を誉めたたえる言葉なのです。

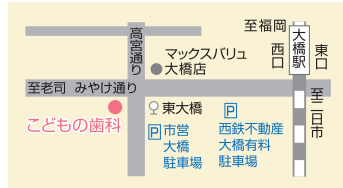
こちらこそ

治療が終わって女の子がポツリ「ありがとう」と言ってくれました。

今日も、うれしくて思わず目から水が流れるのを止められませんでした。

情報クリップ

「絵本の日アワードinFUKUOKA」に全国から応募いただいた、心あたたまるエピソードを集めた本ができました!『絵本はホスピタリティーの宝箱 エピソード33』全国の書店で絶賛発売中です!詳しくは【公式】HPでご覧いただけます。「絵本の日」で検索してください。



こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科
診療時間 9:00~18:30
(昼休み12:30~14:00)
【休診】木曜・祝日

日曜日も診察しています

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
☎092(551)8080
http://kodomonoshika.com